



2011年4月13日
株式会社 Doctor Web Pacific
サポートデスク

Dr.Web® Mail Security Suite クイックセットアップ

はじめに

本書は、弊社製品 Dr.Web® Mail Security Suite を基本的な構成・設定で、導入するための手順をまとめた文書となっております。

Mail Security Suite は、Sendmail や Postfix、qmail などの MTA(Mail Transfer Agent)と統合して、ウイルスメール・迷惑メール対策を実現するソリューションです。また、SMTP Proxy として動作させることで、後段の MTA に中継する前のメールフィルタとして利用することもできます。

尚、本書での説明にあたり、MTA のインストールや設定、各 OS の基本的なコマンドの使い方などの説明は割愛させていただいております。

本書に記載されている手順や表記に関してご不明な点等がございましたら、サポートデスク宛にお問い合わせください。



目次

はじめに	1
1 . Dr.Web® Mail Security Suite について.....	3
1-1) Mail Security Suite のシステム構成 (メールサーバ統合型)	3
1-2) Mail Security Suite のシステム構成 (SMTP-Proxy)	4
1-3) 各モジュールの役割	5
1-4) プラグインの概要	5
1-5) ディレクトリ構成	6
1-6) 本書の目的と想定している構成	7
2 . インストール (メールサーバ統合型)	9
2-1) GUI インストール	9
2-2) コンソールインストール	16
3 . インストール (SMTP-Proxy)	21
3-1) GUI インストール	21
3-2) コンソールインストール	28
3-3) SMTP-Proxy 構成例	32
4 . 動作確認	33
5 . アップデートユーティリティ	35

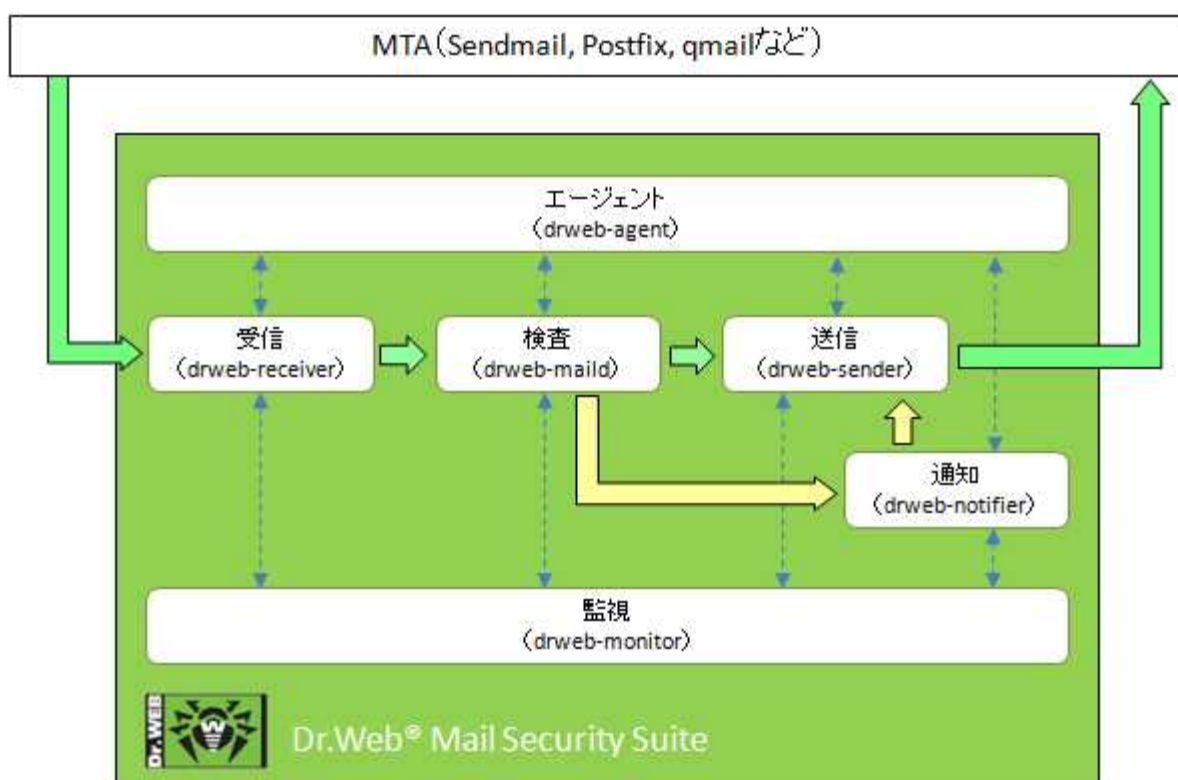
1 . Dr.Web® Mail Security Suite について




Dr.Web® Mail Security Suite は、Sendmail や Postfix、qmail など様々な MTA(Mail Transfer Agent)と統合して、ウイルスメール・迷惑メール対策を実現する機能を備えています。

このほか、SMTP Proxy として利用することもできます。

1-1) Mail Security Suite のシステム構成 (メールサーバ統合型)

メールサーバ統合型の場合、Mail Security Suite は、MTA と統合することでメール検査を行います。基本的なシステム構成は以下のとおりです。

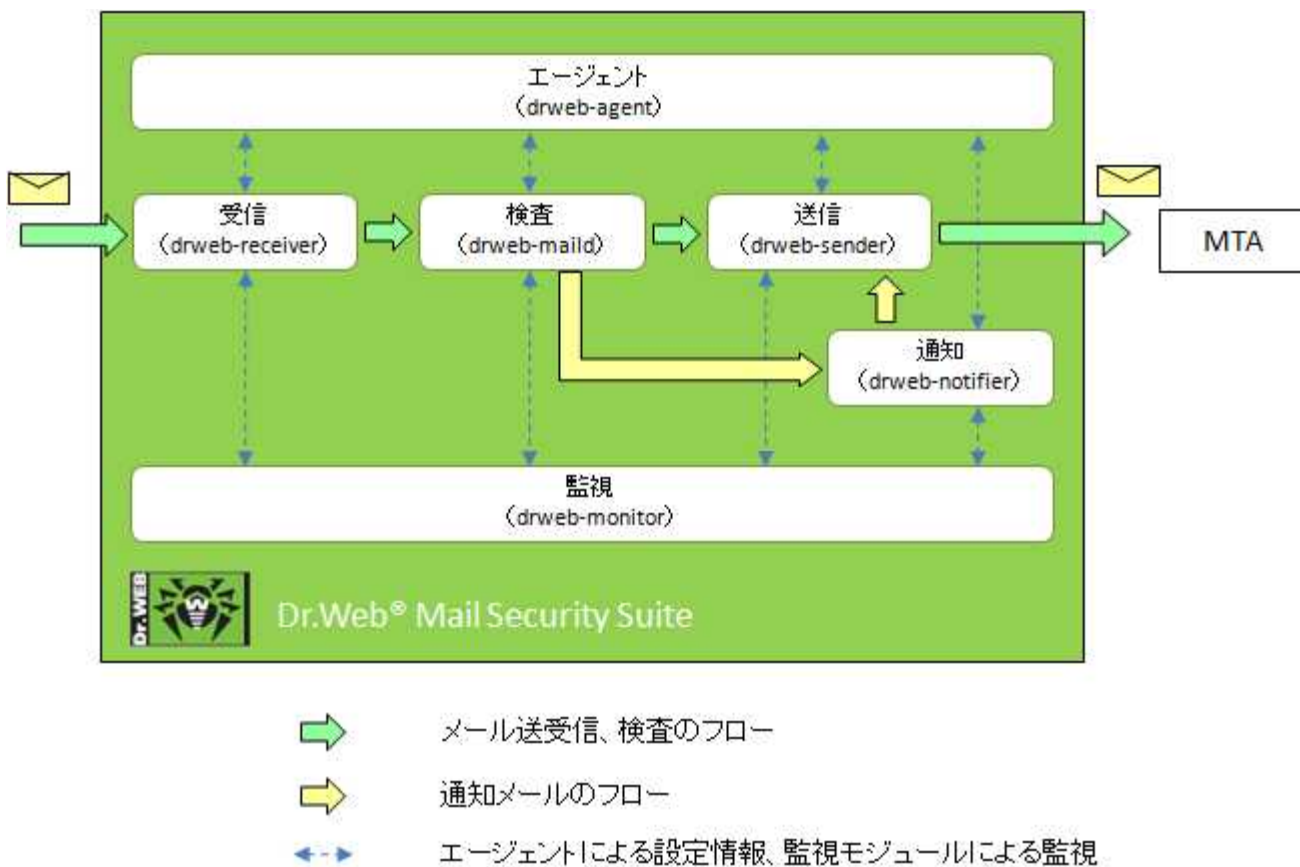


-  メール送受信、検査のフロー
-  通知メールのフロー
-  エージェントによる設定情報、監視モジュールによる監視

1-2) Mail Security Suite のシステム構成 (SMTP-Proxy)

SMTP-Proxy の場合、Mail Security Suite は、SMTP サーバとしてメールの受信と検査を行ってから、後段の MTA に検査後のメールを中継します。

基本的なシステム構成は以下のとおりです。



Note

SMTP-Proxy の場合、drweb-receiver は SMTP/LMTP サーバとして動作し、drweb-sender が SMTP/LMTP クライアントとして動作します。

1-3) 各モジュールの役割

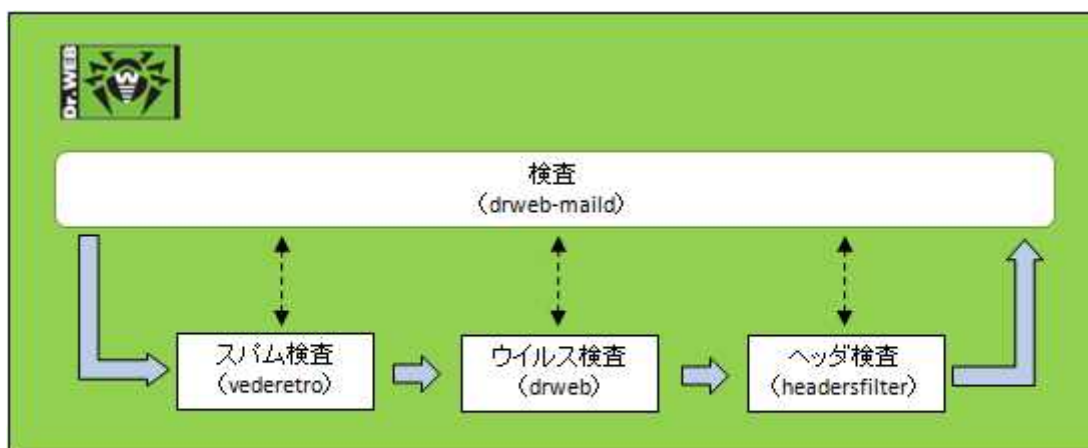
Mail Security Suite は、複数のモジュールで構成されており、それぞれ以下のような役割を担っています。

drweb-receiver	MTA からのメールを受け取る受信モジュール
drweb-maild	受信モジュールから受け取ったメールを検査するモジュール
drweb-sender	検査後のメール、通知モジュールからの通知メールを送信するモジュール
drweb-notifier	通知メールを生成し、送信モジュール経由で通知するモジュール
drweb-agent	他のモジュールに対する設定情報の提供などを行うモジュール
drweb-monitor	Mail Security Suite の開始と各モジュールの監視・再起動を行うモジュール

1-4) プラグインの概要

Mail Security Suite は、プラグインによってウイルス対策をはじめとする様々なメールセキュリティの機能を提供しています。Mail Security Suite では、以下の 4 つのプラグインが実装されています。

drweb	ウイルス検査用プラグイン
vederetro	スパム検査用プラグイン
headersfilter	ヘッダ検査用プラグイン
modifier	メッセージ変更用プラグイン



プラグインによる検査イメージ
(スパム検査、ウイルス検査、ヘッダ検査を行った場合)



1-5) ディレクトリ構成

システムに Mail Security Suite を導入すると、以下のディレクトリが作成され、各種プログラム、設定ファイルなどが配置されます。

1-5-1) プログラム用ディレクトリ

各種実行モジュールやウイルス検査エンジン、アップデートユーティリティなどが配置されるディレクトリです。OS ごとに使用するディレクトリが異なります。

Linux :

/opt/drweb

FreeBSD、Solaris :

/usr/local/drweb

1-5-2) 設定ファイル用ディレクトリ

各種実行モジュールの設定ファイルや通知のテンプレートなどが配置されるディレクトリです。OS ごとに使用するディレクトリが異なります。

Linux :

/etc/drweb

FreeBSD、Solaris :

/usr/local/etc/drweb

1-5-3) ウイルス定義ファイル、ログファイル用ディレクトリほか

ウイルス定義ファイルやログファイルなどが配置されるディレクトリです。このほか、Mail Security Suite の一時作業領域や隔離保存ディレクトリなども配置されます。

各 OS 共通で以下のディレクトリを使用します。

Linux、FreeBSD、Solaris 共通 :

/var/drweb

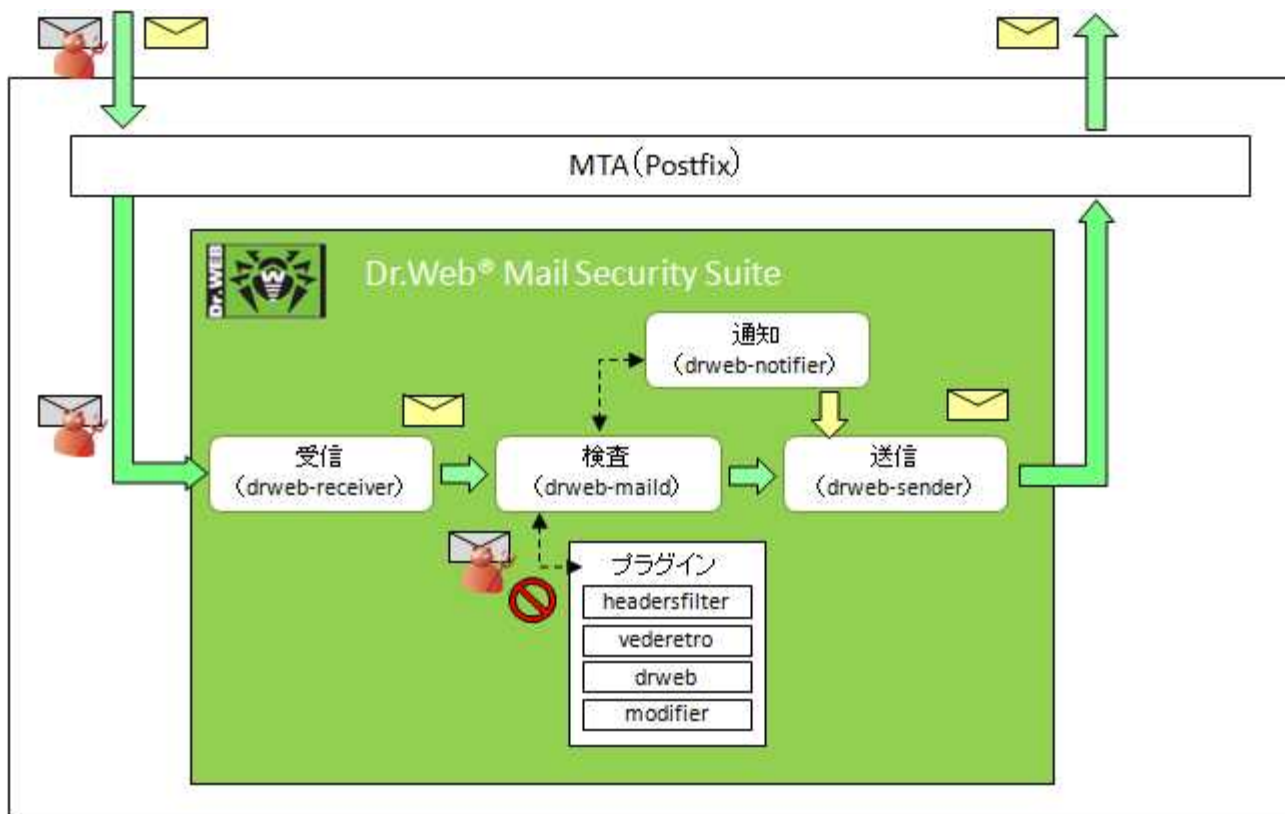
1-6) 本書の目的と想定している構成

前頁までで Mail Security Suite の概要を説明しました。Mail Security Suite は、高度なメールセキュリティの機能を提供するソリューションであり、柔軟且つ詳細設定により要件に合わせた運用が可能です。本書は、Mail Security Suite の円滑なインストール、動作確認までが行えることを目的としています。詳細につきましては、Dr.Web® Mail Security Suite の管理者用ガイドを参照してください。

尚、本書では 2 章で Postfix と Mail Security Suite を統合する方法を紹介し、3 章で SMTP-Proxy として動作させる場合のインストール手順と構成例を紹介しています。

各種選択肢で Postfix に関連した項目を選択している例が記載されていますが、Sendmail や qmail など他の MTA をご利用の場合も同様の方法でインストールすることができます。必要に応じて、ご利用の MTA に読み替えて本書をご利用ください。

また、Mail Security Suite では、インストール後の各種設定とサービス起動を自動で行う自動セットアップを可能としています。円滑なインストールと動作確認を目的とした本書では、自動セットアップを選択した場合の手順をご紹介します。



本書の手順で構築するシステム構成、機能のイメージ (Postfix と統合)



Note

自動セットアップによって適用した各種設定は、あとから設定ファイルを編集して変更することができます。自動セットアップを行わない場合もインストール後に設定ファイルを編集することで、設定が行えます。



Note

インストール、基本設定を中心とした内容は、管理者用ガイドの以下の章に説明があります。インストールおよび初期設定を手動で行う場合に参照してください。

「**Installation and Deinstallation**」

「**Startup of Dr.Web for UNIX Mail Servers**」

「**Integration with Mail Transfer Systems**」

2. インストール (メールサーバ統合型)

drweb-mail-servers-xxxx のインストールパッケージをご利用のお客様が対象です。

X Window System が利用できる環境では、GUI インストーラによる製品のインストールが行えます。GUI インストーラが実行できない場合であっても、インストール用スクリプトによる対話形式で簡易なインストールが行えるようになっています。



インストールパッケージおよびライセンスキーファイルは、Mail Security Suite をインストールするサーバ上に予め配置しておいてください。

2-1) GUI インストール

以下のコマンドで、インストールを実行します。

```
# chmod +x drweb-mail-servers-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run  
# ./drweb-mail-servers-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
```

インストールパッケージが展開され、GUI インストーラが起動します。
(X Window System が利用できる場合)



GUI インストールが起動できない場合は、自動的にインストールスクリプトが実行されます。
「2-2) コンソールインストール」を参照してインストールしてください。



root 権限を持たないアカウントで実行した場合は、root のパスワードを入力するよう求められますので、root のパスワードを入力してインストールを続行してください。

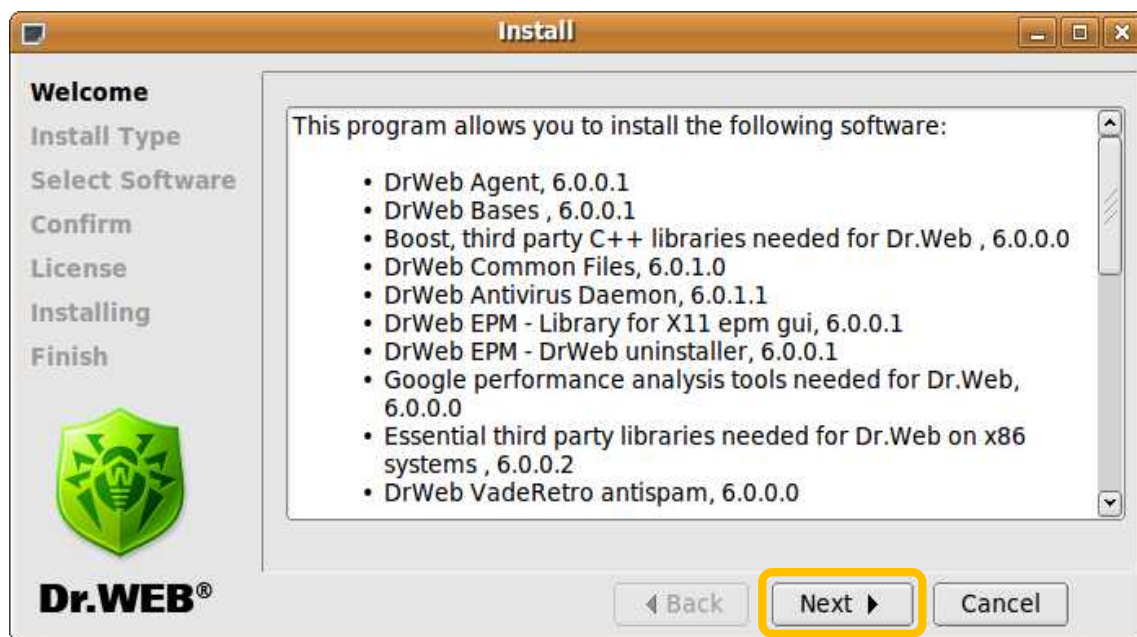


図 1. GUI インストーラ画面 (Welcom)

GUI インストーラが起動したら「Next」ボタンを押して、次に進みます。

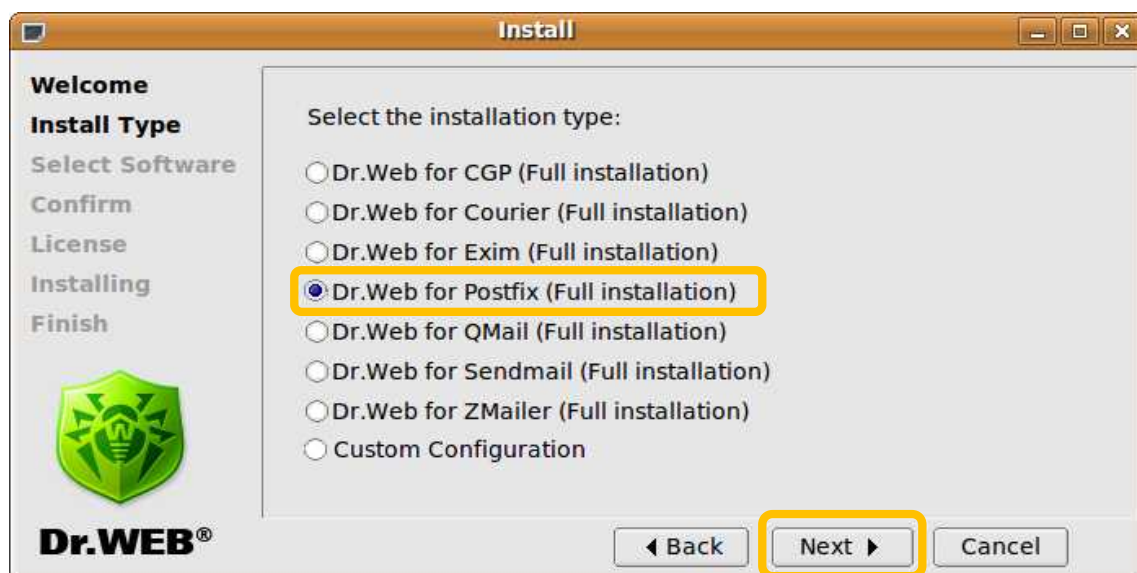


図 2. GUI インストーラ画面 (MTA の指定)

Mail Security Suite と統合する MTA を指定します。

通常は、Mail Security Suite をインストールするサーバに導入済みの MTA の名称が示されている項目を選択し、「Next」ボタンを押して次に進みます。(本書では、MTA として Postfix を指定しています。)

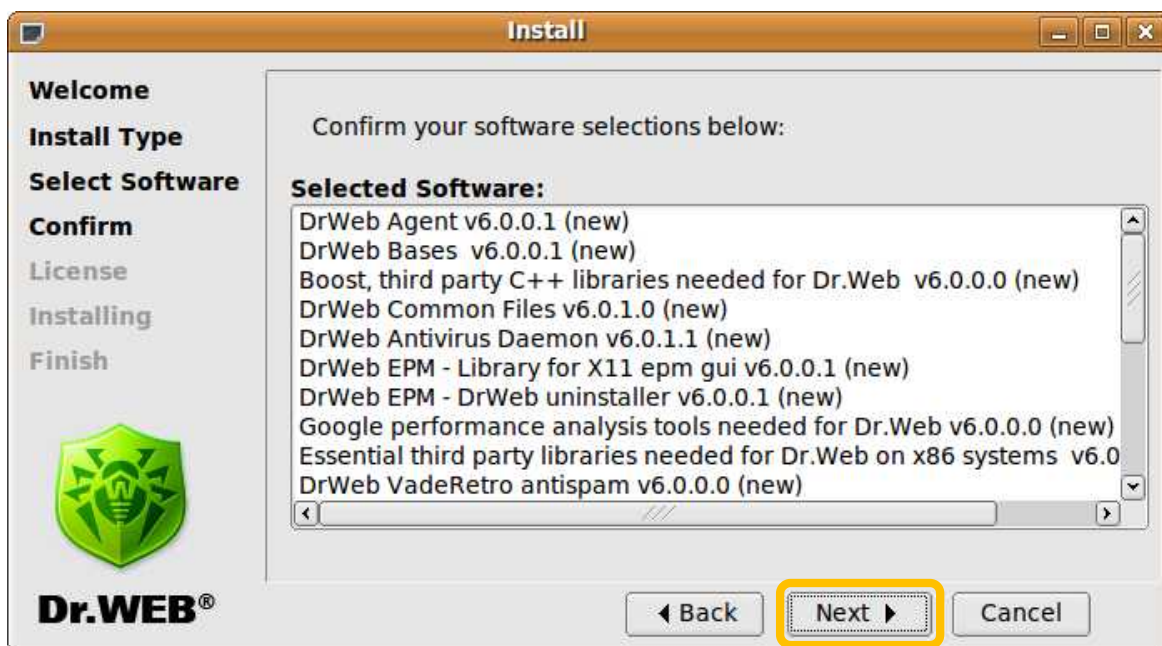


図 3. GUI インストーラ画面（コンポーネントの確認）

コンポーネントの確認画面が表示されたら、「Next」ボタンを押して次に進みます。

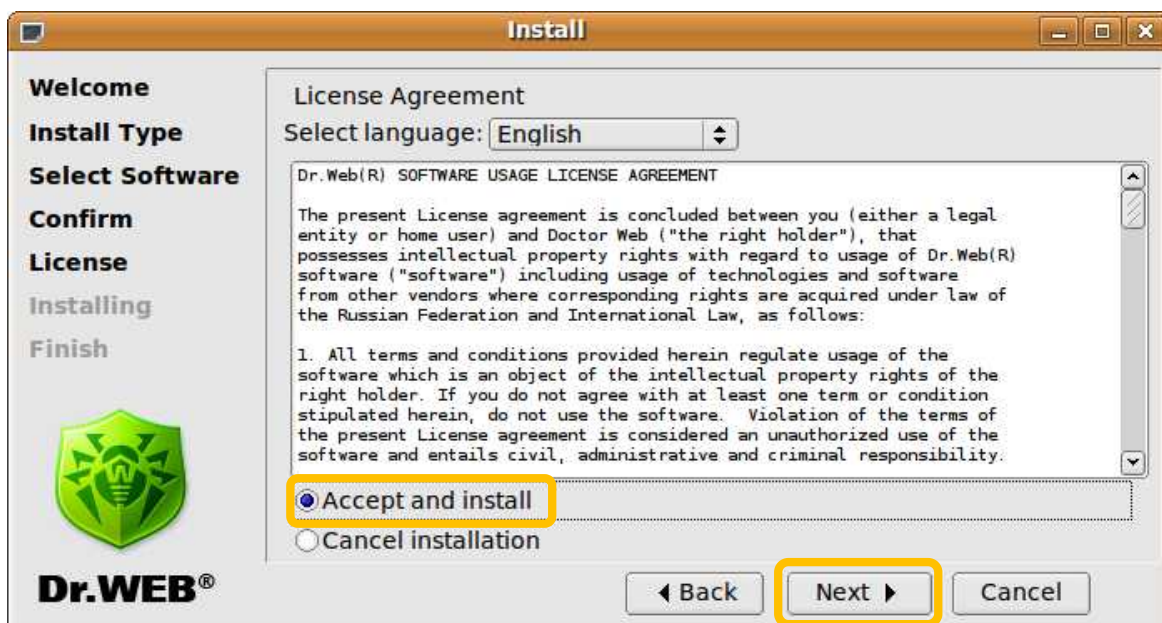


図 4. GUI インストーラ画面（ソフトウェア使用許諾契約）

ソフトウェア使用許諾契約が表示されますので、同意する場合は「Accept and install」を選択し、「Next」ボタンを押してインストールを開始します。

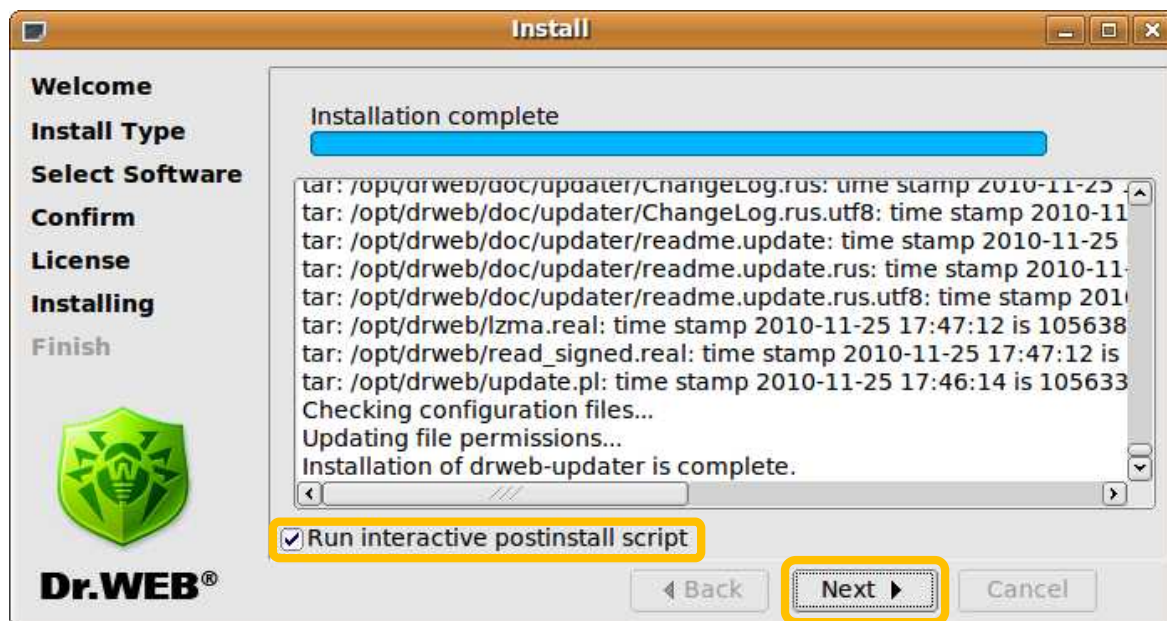


図 5. GUI インストーラ画面 (インストール)

インストールが完了したら、「Run interactive postinstall script」をチェックし、「Next」ボタンを押して次に進みます。



「Run interactive postinstall script」を指定することで、インストール後の基本設定を対話形式で行うためのスクリプトが実行されます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「Run interactive postinstall script」のチェックを外してください。

```
This installation script will help you to configure DrWeb for Mail server Antivirus+Anti
spam
Do you want to continue? (YES/no) yes
```

インストール後の基本設定とサービス設定を行うスクリプトの実行画面が表示されます。「yes」を入力して、セットアップを続行します。



「yes」を入力することで、Mail Security Suite の基本設定や MTA の設定を対話形式で行うことができます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「No」を入力してください。



```
Enter path to key file for Dr.Web MailD.  
If you don't have the key yet you can leave this value unspecified,  
but you must set LicenseFile parameter value in configuration file agent.conf,  
and parameter Key in configuration file drweb32.ini before MailD is  
launched or any plugin is installed.  
[default=]:
```

ライセンスキーファイルのパスを指定するよう求められます。

予め用意しておいたライセンスキーファイルのパスを指定し、Enter を押してセットアップを続行します。

```
Enter list of plugins to process message before placing it to queue/DB.  
Possible values: (vaderetro|headersfilter|drweb|modifier). Values are delimited with commas.  
[default=]:
```

プラグインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。

以下のような値をご利用のライセンスに応じて指定します。

ウイルス対策	headersfilter,drweb,modifier
迷惑メール対策	headersfilter,vederetro,modifier
ウイルス対策と迷惑メール対策	headersfilter,vederetro,drweb,modifier

```
Enter email address to send notifications to.  
[default=postmaster@localhost]:
```

通知メールの宛先となる管理者のメールアドレスを指定します。(デフォルト : postmaster@localhost)

```
Enter email address to send notifications from.  
[default=DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost]:
```

通知メールの送信者として使用するメールアドレスを指定します。

(デフォルト : DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost)

```
Enter list of protected networks (e.g. 127.0.0.0/8). Values are delimited with commas.  
[default=127.0.0.0/8]:
```

保護するネットワークの指定を行います。(デフォルト : 127.0.0.0/8)

```
Enter list of protected domains. Values are delimited with commas.  
[default=localhost]:
```

保護するドメインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。(デフォルト : localhost)



```
Enter language(s) to use in reports.  
Possible values: (en|ja|ru). Values are delimited with commas.  
[default=en]:
```

通知に使用する言語を指定します。(デフォルト: en) ja を指定することで、日本語での通知が行えます。

```
=====  
Configuration:  
  
Plugins directory = /opt/drweb/mailed/plugins  
lng files directory = /etc/drweb/mailed/lng  
Before queue plugins = vaderetro,headersfilter,drweb,modifier  
After queue plugins =  
Administrator email address = root@localhost  
Filter email address = DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost  
Protected networks = 127.0.0.0/8  
Protected domains = localhost  
Language(s) for reports = ja  
Path to key file for Agent = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Daemon = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Scanner = /opt/drweb/drweb32.key  
  
Press 1 to Save updated configuration,  
2 to go Back to editing, 3 to Cancel or 5 to Redisplay [1]
```

設定内容の確認画面が表示されます。1 を入力して設定を保存し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure MTA for DrWeb for Mail server Antivirus+Antispam? (YES/no) yes  
yes  
  
-----  
Welcome to the Dr.Web InstallShield Wizard.  
  
The InstallShield Wizard will configure POSTFIX.  
  
Perform MTA configuration?  
Please enter yes or no.  
yes
```

Mail Security Suite と統合する MTA の設定を行います。「yes」を選択し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure services? (YES/no) yes
```

「yes」を選択し、各種サービスの設定を行います。

```
Configuration completed succesfully.  
Press Enter to finish.
```

```
Installation complete.
```

Enter ボタンを押して、インストールを終了します。

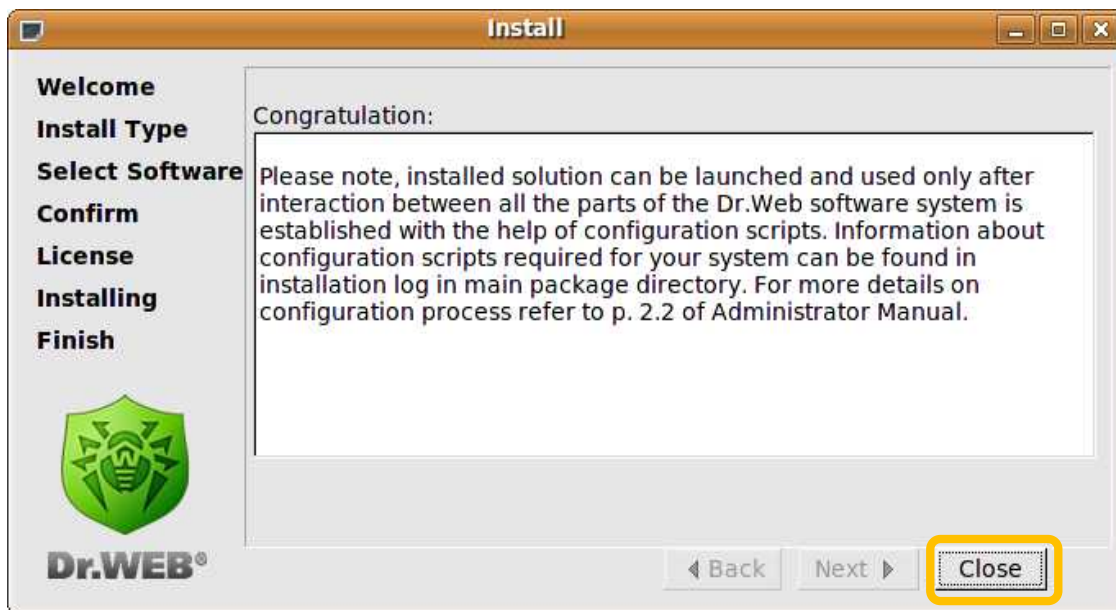


図 6. GUI インストーラ画面（終了）

「Close」ボタンを押して、GUI インストーラを終了します。

以下のようなコマンドで Postfix を再起動します。

例)

```
# /etc/rc.d/init.d/postfix restart
```

Mail Security Suite の基本的な設定が完了し、サービスが開始されます。

「4. 動作確認」を参照し、Mail Security Suite の動作確認を行ってください。



Note

Sendmail や qmail を利用している場合も同様の方法でインストールとセットアップが行えます。



2-2) コンソールインストール

以下のコマンドで、インストールを実行します。

```
# chmod +x drweb-mail-servers-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
# ./drweb-mail-servers-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
```

インストールパッケージが展開され、インストールスクリプトが起動します。



root 権限を持たないアカウントで実行した場合は、root のパスワードを入力するよう求められますので、root のパスワードを入力してインストールを続行してください。

```
This installation script will help you install DrWeb for Mail server Antivirus+Antispam
Do you want to continue? (YES/no) yes
```

インストールスクリプトが起動したら、「yes」を入力してインストールを続行します。

```
Select the installation type:
 1   Dr.Web for CGP (Full installation)
 2   Dr.Web for Courier (Full installation)
 3   Dr.Web for Exim (Full installation)
 4   Dr.Web for Postfix (Full installation)
 5   Dr.Web for QMail (Full installation)
 6   Dr.Web for Sendmail (Full installation)
 7   Dr.Web for ZMailer (Full installation)
 8   Custom Configuration

Choose one configuration to install [1] : 4
Chosen: Dr.Web for Postfix (Full installation)
```

Mail Security Suite と統合する MTA を指定します。

通常は、Mail Security Suite をインストールするサーバに導入済みの MTA の名称が示されている項目の番号を選択します。(本書では、MTA として Postfix “4”を指定しています。)

Dr.Web(R) SOFTWARE USAGE LICENSE AGREEMENT

The present License agreement is concluded between you (either a legal entity or home user) and Doctor Web ("the right holder"), that possesses intellectual property rights with regard to usage of Dr.Web(R) software ("software") including usage of technologies and software from other vendors where corresponding rights are acquired under law of the Russian Federation and International Law, as follows:

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

"Do you agree with the terms of this license? (yes/NO)"のメッセージが表示されたら、「yes」を入力してインストールを開始します。

```
This installation script will help you to configure DrWeb for Mail server Antivirus+Anti
spam
Do you want to continue? (YES/no) yes
```

インストールが完了すると、インストール後の基本設定とサービス設定を行うスクリプトの実行画面が表示されます。

「yes」を入力して、セットアップを続行します。



「yes」を入力することで、Mail Security Suite の基本設定や MTA の設定を対話形式で行うことができます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「No」を入力してください。

```
Enter path to key file for Dr.Web MailD.
If you don't have the key yet you can leave this value unspecified,
but you must set LicenseFile parameter value in configuration file agent.conf,
and parameter Key in configuration file drweb32.ini before MailD is
launched or any plugin is installed.
[default=]:
```

ライセンスキーファイルのパスを指定するよう求められます。

予め用意しておいたライセンスキーファイルのパスを指定し、Enter を押してセットアップを続行します。

```
Enter list of plugins to process message before placing it to queue/DB.
Possible values: (vaderetro|headersfilter|drweb|modifier). Values are delimited with commas.
[default=]:
```

プラグインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。
以下のような値をご利用のライセンスに応じて指定します。

ウイルス対策	headersfilter,drweb,modifier
迷惑メール対策	headersfilter,vaderetro,modifier
ウイルス対策と迷惑メール対策	headersfilter,vaderetro,drweb,modifier

```
Enter email address to send notifications to.
[default=postmaster@localhost]:
```

通知メールの宛先となる管理者のメールアドレスを指定します。(デフォルト：postmaster@localhost)

```
Enter email address to send notifications from.
[default=DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost]:
```

通知メールの送信者として使用するメールアドレスを指定します。
(デフォルト：DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost)

```
Enter list of protected networks (e.g. 127.0.0.0/8). Values are delimited with commas.
[default=127.0.0.0/8]:
```

保護するネットワークの指定を行います。(デフォルト：127.0.0.0/8)

```
Enter list of protected domains. Values are delimited with commas.
[default=localhost]:
```

保護するドメインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。(デフォルト：localhost)

```
Enter language(s) to use in reports.
Possible values: (en|ja|ru). Values are delimited with commas.
[default=en]:
```

通知に使用する言語を指定します。(デフォルト：en) ja を指定することで、日本語での通知が行えます。

```
=====  
Configuration:  
  
Plugins directory = /opt/drweb/mailed/plugins  
lng files directory = /etc/drweb/mailed/lng  
Before queue plugins = vaderetro,headersfilter,drweb,modifier  
After queue plugins =  
Administrator email address = root@localhost  
Filter email address = DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost  
Protected networks = 127.0.0.0/8  
Protected domains = localhost  
Language(s) for reports = ja  
Path to key file for Agent = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Daemon = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Scanner = /opt/drweb/drweb32.key  
  
Press 1 to Save updated configuration,  
2 to go Back to editing, 3 to Cancel or 5 to Redisplay [1]
```

設定内容の確認画面が表示されます。1を入力して設定を保存し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure MTA for DrWeb for Mail server Antivirus+Antispam? (YES/no) yes  
yes  
-----  
Welcome to the Dr.Web InstallShield Wizard.  
  
The InstallShield Wizard will configure POSTFIX.  
  
Perform MTA configuration?  
Please enter yes or no.  
yes
```

Mail Security Suite と統合する MTA の設定を行います。「yes」を選択し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure services? (YES/no) yes
```

「yes」を選択し、各種サービスの設定を行います。

```
Configuration completed succesfully.  
Press Enter to finish.  
  
Installation complete.
```

Enter ボタンを押して、インストールを終了します。

以下のようなコマンドで Postfix を再起動します。

例)

```
# /etc/rc.d/init.d/postfix restart
```

Mail Security Suite の基本的な設定が完了し、サービスが開始されます。

「4. 動作確認」を参照し、Mail Security Suite の動作確認を行ってください。



Note

Sendmail や qmail を利用している場合も同様の方法でインストールとセットアップが行えます。

3. インストール (SMTP-Proxy)

drweb-mail-gateways-xxxx のインストールパッケージをご利用のお客様が対象です。

X Window System が利用できる環境では、GUI インストーラによる製品のインストールが行えます。GUI インストーラが実行できない場合であっても、インストール用スクリプトによる対話形式で簡易なインストールが行えるようになっています。



インストールパッケージおよびライセンスキーファイルは、Mail Security Suite をインストールするサーバ上に予め配置しておいてください。

3-1) GUI インストール

以下のコマンドで、インストールを実行します。

```
# chmod +x drweb-mail-gateways-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run  
# ./drweb-mail-gateways-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
```

インストールパッケージが展開され、GUI インストーラが起動します。
(X Window System が利用できる場合)



GUI インストールが起動できない場合は、自動的にインストールスクリプトが実行されます。
「3-2) コンソールインストール」を参照してインストールしてください。



root 権限を持たないアカウントで実行した場合は、root のパスワードを入力するよう求められますので、root のパスワードを入力してインストールを続行してください。

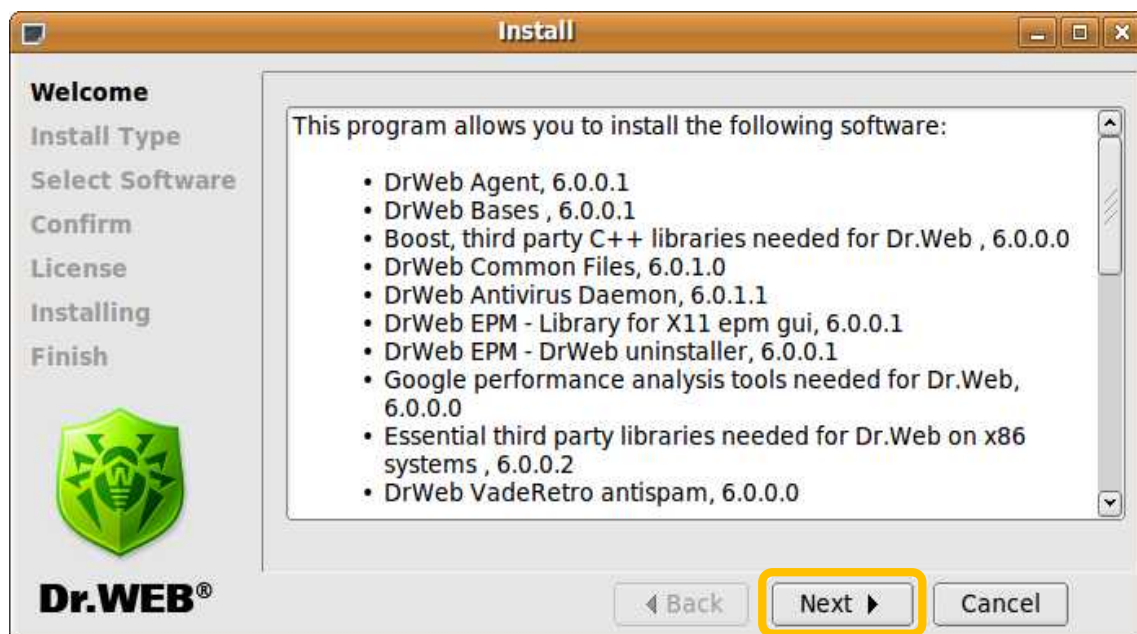


図 1. GUI インストーラ画面 (Welcom)

GUI インストーラが起動したら「Next」ボタンを押して、次に進みます。

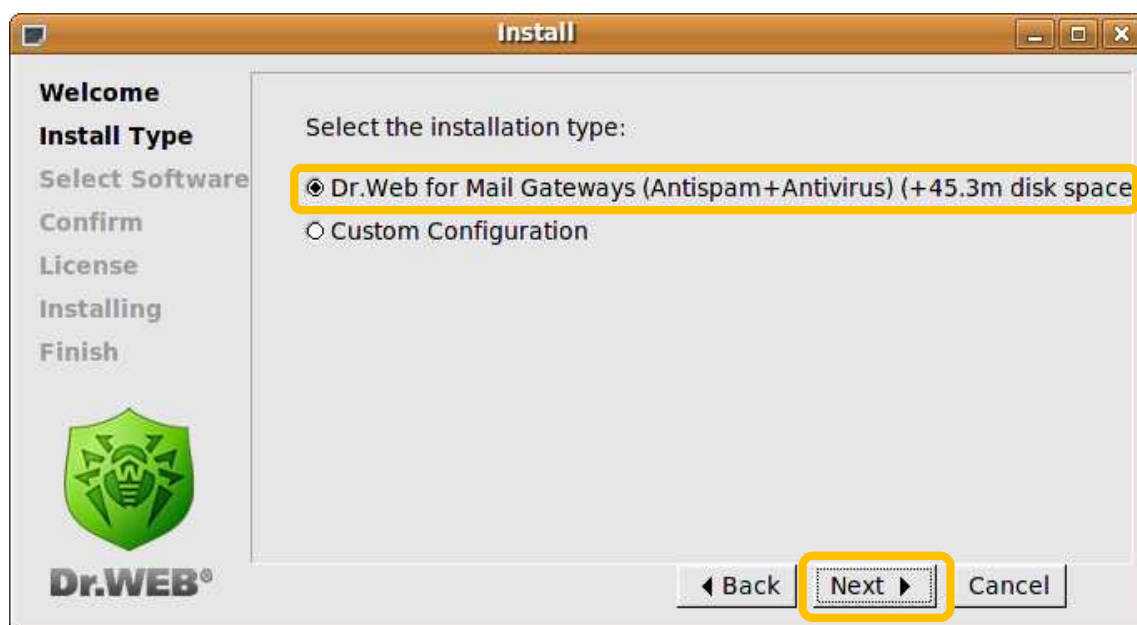


図 2. GUI インストーラ画面 (インストールタイプの指定)

「Dr.Web for Mail Gateways」を選択し、「Next」ボタンを押して次に進みます。

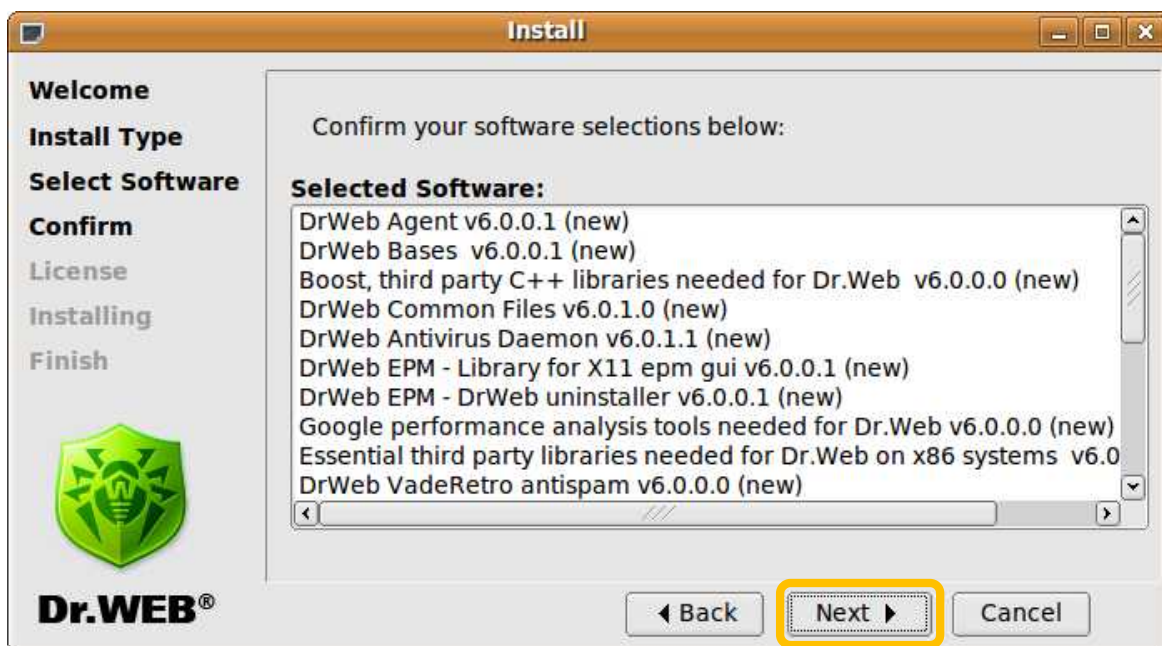


図 3. GUI インストーラ画面（コンポーネントの確認）

コンポーネントの確認画面が表示されたら、「Next」ボタンを押して次に進みます。

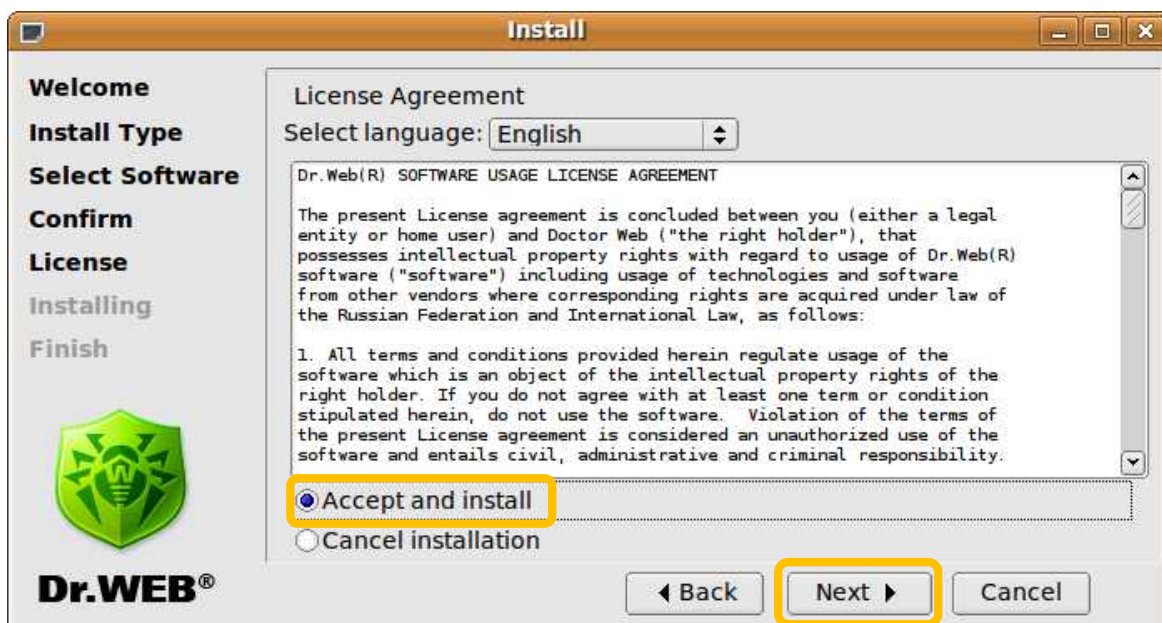


図 4. GUI インストーラ画面（ソフトウェア使用許諾契約）

ソフトウェア使用許諾契約が表示されますので、同意する場合は「Accept and install」を選択し、「Next」ボタンを押してインストールを開始します。

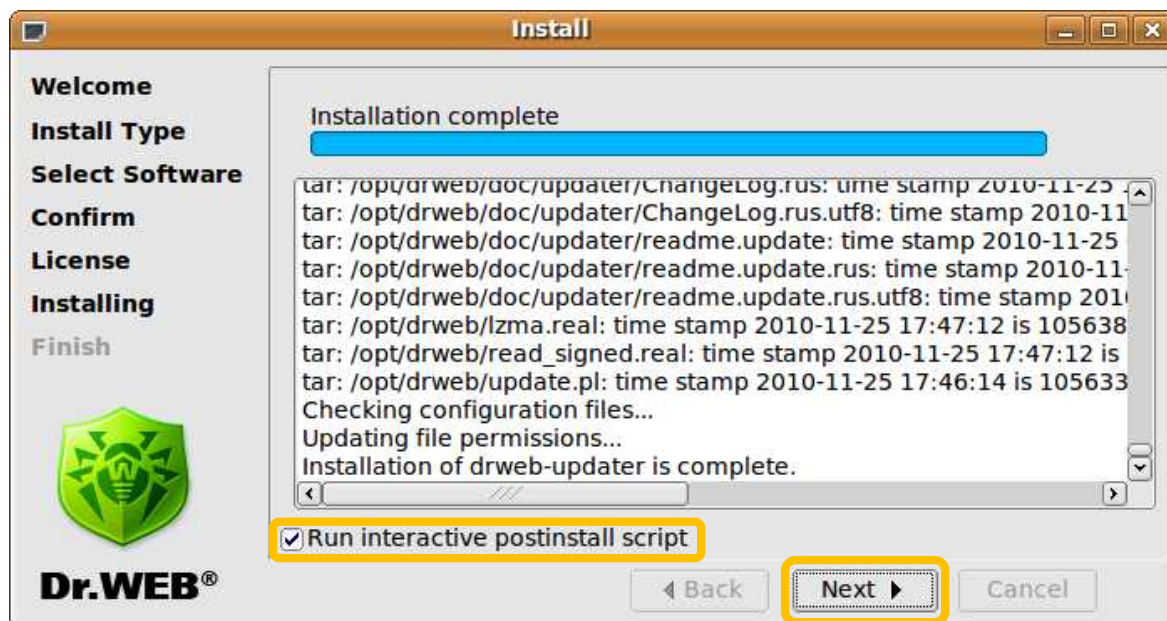


図 5. GUI インストーラ画面 (インストール)

インストールが完了したら、「Run interactive postinstall script」をチェックし、「Next」ボタンを押して次に進みます。



「Run interactive postinstall script」を指定することで、インストール後の基本設定を対話形式で行うためのスクリプトが実行されます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「Run interactive postinstall script」のチェックを外してください。

```
This installation script will help you to configure DrWeb for Mail Gateways Antivirus
Do you want to continue? (YES/no)
```

インストール後の基本設定とサービス設定を行うスクリプトの実行画面が表示されます。「yes」を入力して、セットアップを続行します。



「yes」を入力することで、Mail Security Suite の待ち受けポートの指定や中継先の MTA の指定などの設定を対話形式で行うことができます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「No」を入力してください。



```
Enter path to key file for Dr.Web MailD.  
If you don't have the key yet you can leave this value unspecified,  
but you must set LicenseFile parameter value in configuration file agent.conf,  
and parameter Key in configuration file drweb32.ini before MailD is  
launched or any plugin is installed.  
[default=]:
```

ライセンスキーファイルのパスを指定するよう求められます。

予め用意しておいたライセンスキーファイルのパスを指定し、Enter を押してセットアップを続行します。

```
Enter list of plugins to process message before placing it to queue/DB.  
Possible values: (vaderetro|headersfilter|drweb|modifier). Values are delimited with commas.  
[default=]:
```

プラグインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。

以下のような値をご利用のライセンスに応じて指定します。

ウイルス対策	headersfilter,drweb,modifier
迷惑メール対策	headersfilter,vaderetro,modifier
ウイルス対策と迷惑メール対策	headersfilter,vaderetro,drweb,modifier

```
Enter hostname.  
[default=localhost.localdomain]:
```

Mail Security Suite のホスト名を指定します。

```
Enter email address to send notifications to.  
[default=postmaster@localhost.localdomain]:
```

通知メールの宛先となる管理者のメールアドレスを指定します。

```
Enter email address to send notifications from.  
[default=DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost.localdomain]:
```

通知メールの送信者として使用するメールアドレスを指定します。

```
Enter list of protected networks (e.g. 127.0.0.0/8). Values are delimited with commas.  
[default=127.0.0.0/8]:
```

保護するネットワークの指定を行います。(デフォルト : 127.0.0.0/8)



```
Enter list of protected domains. Values are delimited with commas.  
[default=localhost]:
```

保護するドメインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。

```
Enter MailD address(es) to handle SMTP/LMTP requests. Valid types: inet, local. Values are  
re delimited with commas.  
[default=inet:25@0.0.0.0]:
```

drweb-reciever の待ち受けポートを指定します。(デフォルト : inet:25@0.0.0.0)

```
Enter email address for outgoing messages. Valid types: inet, local, mx.  
[default=inet:3003@127.0.0.1]:
```

drweb-sender が中継する後段の MTA を指定します。(デフォルト : inet:3003@127.0.0.1)

```
Enter language(s) to use in reports.  
Possible values: (en|ja|ru). Values are delimited with commas.  
[default=en]:
```

通知に使用する言語を指定します。(デフォルト : en) ja を指定することで、日本語での通知が行えます。

```
=====  
Configuration:  
  
Plugins directory = /opt/drweb/mailed/plugins  
lng files directory = /etc/drweb/mailed/lng  
Before queue plugins = headersfilter,drweb,modifier  
After queue plugins =  
Hostname = localhost.localdomain  
Administrator email address = postmaster@localhost.localdomain  
Filter email address = DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost.localdomain  
Protected networks = 127.0.0.0/8  
Protected domains = localhost.localdomain  
Receiver email address(es) = inet:25@0.0.0.0  
Sender email address(es) = inet:3003@127.0.0.1  
Language(s) for reports = ja  
Path to key file for Agent = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Daemon = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Scanner = /opt/drweb/drweb32.key  
  
Press 1 to Save updated configuration,  
2 to go Back to editing, 3 to Cancel or 5 to Redisplay [1]
```

設定内容の確認画面が表示されます。1 を入力して設定を保存し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure services? (YES/no) yes
```

「yes」を選択し、各種サービスの設定を行います。

```
Configuration completed successfully.  
Press Enter to finish.
```

```
Installation complete.
```

Enter ボタンを押して、インストールを終了します。

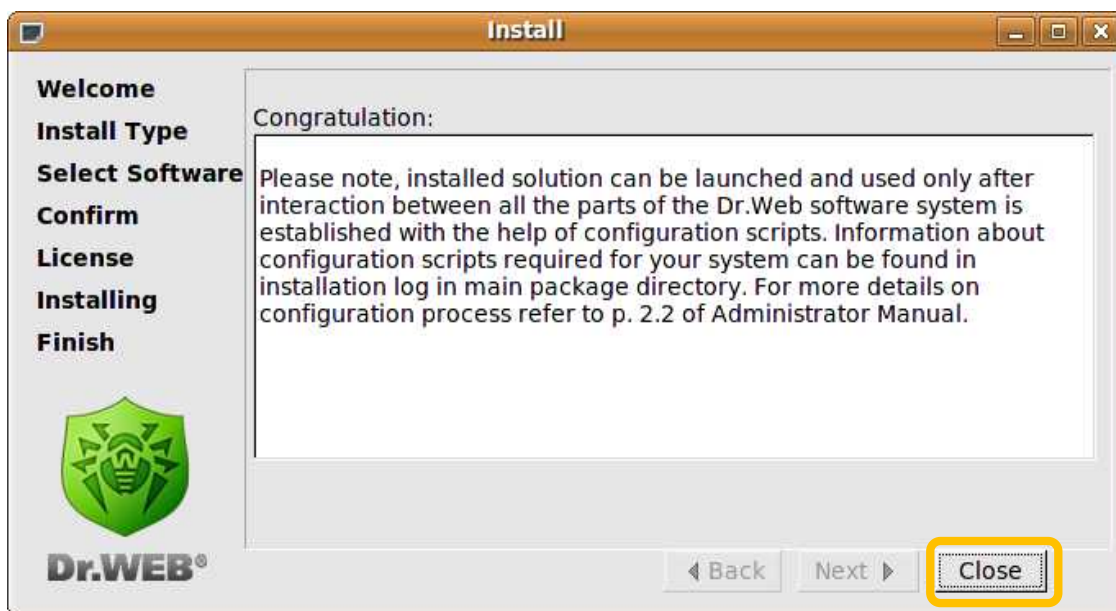


図 6. GUI インストーラ画面 (終了)

「Close」ボタンを押して、GUI インストーラを終了します。

Mail Security Suite の基本的な設定が完了し、サービスが開始されます。

「4. 動作確認」を参照し、Mail Security Suite の動作確認を行ってください。

3-2) コンソールインストール

以下のコマンドで、インストールを実行します。

```
# chmod +x drweb-mail-gateways-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
# ./drweb-mail-gateways-av-as_6.0.x.x-xxxx_[os].run
```

インストールパッケージが展開され、インストールスクリプトが起動します。



root 権限を持たないアカウントで実行した場合は、root のパスワードを入力するよう求められますので、root のパスワードを入力してインストールを続行してください。

```
This installation script will help you install DrWeb for Mail Gateways Antivirus
Do you want to continue? (YES/no)
```

インストールスクリプトが起動したら、「yes」を入力してインストールを続行します。

```
Select the installation type:
 1      Dr.Web for Mail Gateways (Antivirus)
 2      Custom Configuration

Choose one configuration to install [1] :
```

1 を入力して「Dr.Web for Mail Gateways」を指定します。(デフォルトで 1 が選択されています)

```
Dr.Web(R) SOFTWARE USAGE LICENSE AGREEMENT

The present License agreement is concluded between you (either a legal
entity or home user) and Doctor Web ("the right holder"), that
possesses intellectual property rights with regard to usage of Dr.Web(R)
software ("software") including usage of technologies and software
from other vendors where corresponding rights are acquired under law of
the Russian Federation and International Law, as follows:
```

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

"Do you agree with the terms of this license? (yes/NO)" のメッセージが表示されたら、「yes」を入力してインストールを開始します。



```
This installation script will help you to configure DrWeb for Mail Gateways Antivirus
Do you want to continue? (YES/no)
```

インストールが完了すると、インストール後の基本設定とサービス設定を行うスクリプトの実行画面が表示されます。

「yes」を入力して、セットアップを続行します。



「yes」を入力することで、Mail Security Suite の待ち受けポートの指定や中継先の MTA の指定などの設定を対話形式で行うことができます。あとから各種設定を手動で行う場合は、「No」を入力してください。

```
Enter path to key file for Dr.Web MailD.
If you don't have the key yet you can leave this value unspecified,
but you must set LicenseFile parameter value in configuration file agent.conf,
and parameter Key in configuration file drweb32.ini before MailD is
launched or any plugin is installed.
[default=]:
```

ライセンスキーファイルのパスを指定するよう求められます。

予め用意しておいたライセンスキーファイルのパスを指定し、Enter を押してセットアップを続行します。

```
Enter list of plugins to process message before placing it to queue/DB.
Possible values: (vaderetro|headersfilter|drweb|modifier). Values are delimited with com
mas.
[default=]:
```

プラグインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。

以下のような値をご利用のライセンスに応じて指定します。

ウイルス対策	headersfilter,drweb,modifier
迷惑メール対策	headersfilter,vederetro,modifier
ウイルス対策と迷惑メール対策	headersfilter,vederetro,drweb,modifier

```
Enter hostname.
[default=localhost.localdomain]:
```

Mail Security Suite のホスト名を指定します。



```
Enter email address to send notifications to.  
[default=postmaster@localhost.localdomain]:
```

通知メールの宛先となる管理者のメールアドレスを指定します。

```
Enter email address to send notifications from.  
[default=DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost.localdomain]:
```

通知メールの送信者として使用するメールアドレスを指定します。

```
Enter list of protected networks (e.g. 127.0.0.0/8). Values are delimited with commas.  
[default=127.0.0.0/8]:
```

保護するネットワークの指定を行います。

```
Enter list of protected domains. Values are delimited with commas.  
[default=localhost]:
```

保護するドメインの指定を行います。カンマ区切りで複数指定が行えます。

```
Enter MailD address(es) to handle SMTP/LMTP requests. Valid types: inet, local. Values are  
re delimited with commas.  
[default=inet:25@0.0.0.0]:
```

drweb-reciever の待ち受けポートを指定します。(デフォルト : inet:25@0.0.0.0)

```
Enter email address for outgoing messages. Valid types: inet, local, mx.  
[default=inet:3003@127.0.0.1]:
```

drweb-sender が中継する後段の MTA を指定します。(デフォルト : inet:3003@127.0.0.1)

```
Enter language(s) to use in reports.  
Possible values: (en|ja|ru). Values are delimited with commas.  
[default=en]:
```

通知に使用する言語を指定します。(デフォルト : en) ja を指定することで、日本語での通知が行えます。

```
=====  
Configuration:  
  
Plugins directory = /opt/drweb/mailed/plugins  
lng files directory = /etc/drweb/mailed/lng  
Before queue plugins = headersfilter,drweb,modifier  
After queue plugins =  
Hostname = localhost.localdomain  
Administrator email address = postmaster@localhost.localdomain  
Filter email address = DrWEB-MAIL-DAEMON@localhost.localdomain  
Protected networks = 127.0.0.0/8  
Protected domains = localhost.localdomain  
Receiver email address(es) = inet:25@0.0.0.0  
Sender email address(es) = inet:3003@127.0.0.1  
Language(s) for reports = ja  
Path to key file for Agent = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Daemon = /opt/drweb/drweb32.key  
Path to key file for Dr.Web Scanner = /opt/drweb/drweb32.key  
  
Press 1 to Save updated configuration,  
2 to go Back to editing, 3 to Cancel or 5 to Redisplay [1]
```

設定内容の確認画面が表示されます。1を入力して設定を保存し、セットアップを続行します。

```
Do you want to configure services? (YES/no) yes
```

「yes」を選択し、各種サービスの設定を行います。

```
Configuration completed succesfully.  
Press Enter to finish.  
  
Installation complete.
```

Enter ボタンを押して、インストールを終了します。

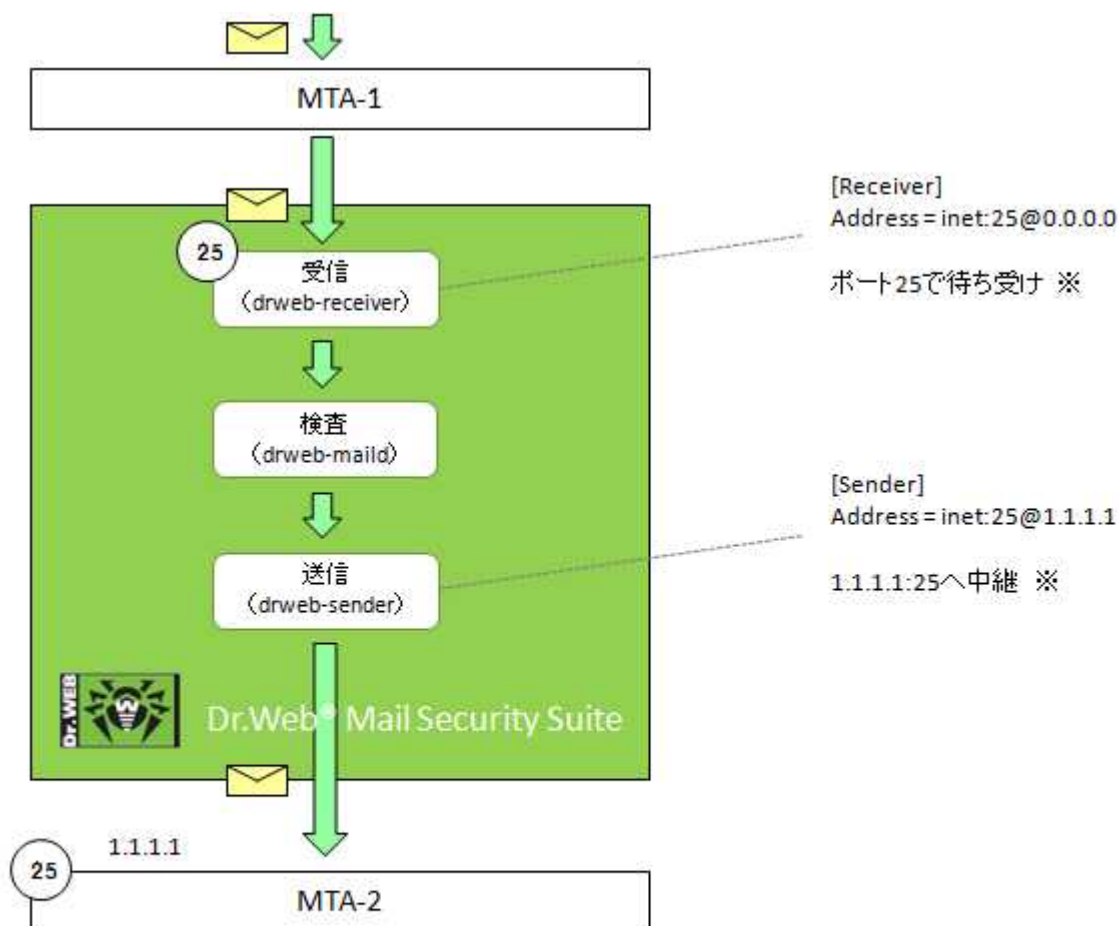
Mail Security Suite の基本的な設定が完了し、サービスが開始されます。

「4. 動作確認」を参照し、Mail Security Suite の動作確認を行ってください。

3-3) SMTP-Proxy 構成例

SMTP-Proxy の場合、drweb-receiver は SMTP/LMTP サーバとして動作し、drweb-sender が SMTP/LMTP クライアントとして動作します。

以下の例のように、用途に応じて用意された 2 つの MTA の間に Mail Security Suite を配置するなど、柔軟な構成を取ることができます。



※
設定ファイル用ディレクトリの maild_smtp.conf の [Receiver] セクション、[Sender] セクション の設定例
(自動セットアップ用スクリプトの待ち受けポートの指定、中継先の指定に該当)



4. 動作確認

インストールが完了したら、Dr.Web® Mail Security Suite が正しく動作しているかを確認します。

最初に通常メールの処理に問題がないことを確認します。

テストメッセージを送信して問題なく送受信が行えることを確認します。

テストメッセージの送受信が問題なく行えることを確認したら、テスト用ファイルの eicar を利用した検出テストを行います。(eicar ダウンロード URL : http://www.eicar.org/anti_virus_test_file.htm)
eicar を添付したテストメッセージを送信し、以下のような検出通知が届くことを確認します。

www.drweb.com
見つかったウイルス 詳細なレポート
メール受信者様!

あなた宛に送られたメール(送信者: aaaa@bbbb.com - 第三者が騙っている可能性もあります) はウイルスに感染していたために配送されませんでした。
送信者 (正しくない可能性あり): aaaa@bbbb.com
受信者: xxxx@yyy.co.jp
件名: Eicar Test
Message-ID: <20110331081219.4C913411CD@aaaa.bbbb.com>
接続元IPアドレス: 127.0.0.1
元のメッセージはメールデーモンがブロックし、次のファイル名でサーバ上に隔離保存しました - def/drweb/8/00000008.100.maild.yljinXx. このメッセージを受信するにはメッセージ送信 <<mailto:DrWEB-MAIL-DAEMON@aaaa.bbbb.com?Subject=q:def/drweb/8/00000008.100.maild.yljinXx>> をクリックし、メールソフトが起動したら宛先・件名を編集せずにそのまま送信してください。※ 隔離されたメッセージは次の日時にサーバ上から削除されます: 01.04.2011 17:12:19.

Dr.Web 検査統計
Messages with viruses: 1
既知のウイルス: 1

見つかったウイルス
EICAR Test File (NOT a Virus!)

ウイルスを検出し、配信されなかったことが示されており、Mail Security Suite が正しく動作していることの確認になります。同様の通知はメールの送信者と指定された管理者宛にも配信されます。



Note

eicar は、ウイルス対策におけるテストで広く利用されている 68 バイトの無害なコードです。
検出名は、"EICAR Test File(NOT a Virus!)"です。



Note

通知メールの生成と送付先の指定は、drweb-maild の設定ファイルの[Rules]セクションで定義できます。
これにより、通知メールを受信者だけに送付するといった指定が可能です。ウイルス検出の場合は、デフォルト設定で"any"が指定されており、メールの送信者と受信者、管理者のすべてに送付されます。
また、通知メールの内容はテンプレート(設定ファイル用ディレクトリ/maild/templates/)を編集することで任意のメッセージ、レイアウトに変更することができます。



5. アップデートユーティリティ

日々、増え続けるウイルスの脅威に対応し続けるためには、定期的にウイルス定義ファイルを更新し、最適な状態で Mail Security Suite を動作させる必要があります。

アップデートユーティリティが定期的に行われるように、cron タスクに更新スケジュールを登録します。

Linux :

インストール時に /etc/cron.d/drweb-update が自動的に作成されます。

```
* /30 * * * * /opt/drweb/update.pl
```

FreeBSD :

drweb ユーザの crontab に以下のような更新スケジュールを登録します。

```
# crontab -u drweb -e
*/30 * * * * /usr/local/drweb/update.pl
```

Solaris :

drweb ユーザの crontab に以下のような更新スケジュールを登録します。

```
# crontab -e drweb
0,30 * * * * /opt/drweb/update.pl
```

以上で Dr.Web® Mail Security Suite のインストールと基本的な設定、動作確認は完了です。

以上



Dr.Web® Mail Security Suite

大量のメールトラフィックの為の高インテリジェントなアンチウイルス、アンチスパムプロテクションシステム

高いセキュリティ基準に対応

Dr.Web® Mail Security Suite はロシア連邦技術・輸出管理局(FSTEC)、ロシア連邦保安庁(FSB)に認証されており、高度なセキュリティが要求されるネットワークにもご利用いただけます。

柔軟な設定

Dr.Web® Mail Security Suite は、設定ファイル内のスタティックパラメータを使ってのみセットアップ可能な他の競合ソリューションに比べ、非常に柔軟な設定が可能です。メッセージは管理者が異なるユーザー、グループ、さらにはそれぞれのメールにまで個別に設定、決められたポリシーに従ってフィルタリングのカスタムが可能です。これにより、製品は企業のどんなセキュリティ要求にも対応することができます

Doctor Web とは

Doctor Web は、1992 年からアンチウイルスを中心とした『Dr.Web』ブランドをワールドワイドで展開しているロシアの IT セキュリティソリューションベンダーです。ロシアの国防総省/政府機関/国際銀行/石油・エネルギー関連施設/地方自治体をはじめ、世界中のグローバルカンパニーにご利用いただいている信用と実績を持つ、業界最高水準のセキュリティ製品です。ウイルス・スパイウェアや迷惑メール(スパム)を確実に検出するその能力は、第三者権威機関によって高く評価されています。

株式会社 Doctor Web Pacific

日本法人 Doctor Web Pacific

会社名	株式会社 Doctor Web Pacific
英文表記	Doctor Web Pacific, Inc
所在地	神奈川県川崎市川崎区東田町 1-2 NKF 川崎ビル 2F
代表者	菅原 修
TEL/FAX	044-201-7711 / 044-201-7712
業務開始	2010/12/14
資本金	4000 万円 (Doctor Web, Ltd. 100%出資)
URL	http://www.drweb.co.jp/